



園生の森公園を育てる会 会報

ヤマユリ通信 No.153

2019.6.15

発行者／園生の森公園を育てる会事務局

6月はたっぷり自然観察と 外来種の確認

ちょうど梅雨入り宣言の直後、曇りの予報がわずかに霧雨の降る中、大人22名(中学生含む)、子供1名の参加でした。草むらはじっとりと濡れているので、草刈りはよしにしてのんびりと自然観察です。

梅雨の森はいろんな匂い

林冠からは、コゲラやメジロの声がするなか、遠くからはクリの花の匂いが漂ってきます。梅雨の花は匂いに頼るものが多いようです。意外なのは、ムラサキシキブ。紫の実が有名ですが、花の色や香りもなかなかのものです。香水のような香りがします。霧雨のしのつくなかを、ドクダミやヤマホタルブクロなどの植物に、エゴツルクビオトシブミやウラシマソウの葉を食べるノバチの幼虫など、昆虫を観察しながら森を歩きました。今年は雨がが多いためか植物も虫も元気です。



かっぱを着ながらの観察



ムラサキシキブの花が香ります

雨だと嬉しい

雨の中で歩くと、普段はみられない光景にでくわします。下の道のウッドデッキはいつも虫の観察にうってつけですが、今日の主役は土壤動物たちでした。普段は落ち葉の中に潜んでいるワラジムシやダンゴムシ、ヤスデなどが大挙してデッキの手すりに群がっています。デッキに発生した何か(藻なのか菌なのか)を食べているようです。見た目は地味ですが、落ち葉を分解してくれる心強い仲間です。



エダナナフシは触覚が長い



ものすごい数のワラジムシ

正倉院の

幼虫が朽木に棲むため間伐した木をそのまま利用する園生の森はタマムシに優しい森です。かなり早いですが、もう成虫が羽化していました！



雨の雫が輝きます

「育てる会」会員募集中

園生の森公園を育てる会は、自然観察や動植物の調査、イベントの開催、パトロールなどを通して園生の森公園を守り、育てていきます。皆さんもぜひご参加ください。

- ・ 定例観察会：毎月第2土曜日
- ・ 森のお手入れ部会：毎月第4土曜日

●園生の森公園を育てる会 事務局 担当：佐々木
E-mail: p.mume1980@gmail.com

次回の定例観察会

- 内容 「ヤマユリの観察と草刈り」
- 日時 令和元年7月13日(土)
午前9:30～12:00
- 集合場所 あやめ台いきいきセンター前
(あやめ台小学校西校門)

- ・ 参加は無料です。
- ・ 初めての方も大歓迎！いつでも自由参加です。
- ・ 動きやすく汚れてもよい服装で。
- ・ 雨天の場合は中止します。

★Facebookで日々の活動発信中♪ <https://www.facebook.com/sonnounomori/>



お願いします！